

看護師確保対策委員会ニュース

キラリ看護のつどい



キラリ看護を共有し、全職員の力で看護師紹介をすすめる場として、「キラリ看護のつどい」を例年より早めの8月3日に開催しました。

今年度は「訪問看護先の患者さんと家族との関わり」「本人の想いを大切にされた看護の取り組み」「退院困難な患者さんと自宅退院を目指して」「住み慣れた地域で安全に安心して生活していくための取り組み」について「キラリ看護」の紹介がありました。入社一年目のママさんナースから働きやすい職場の紹介もして頂きました。さらに研修医からは「プロフェッショナルな看護師さん」「看護師さんに助けられていること」について語って頂きました。報告をして頂いた職員の皆さんありがとうございました。参加者からは「患者の立場に立って振り返ることが大切」「民医連看護って素晴らしい」などの感想がありました。

忙しい業務の中でも、患者さん一人ひとりに寄り添う看護をしていることが伝わってきた集会でした。

★今回は「ママさんナース」と「研修医」のキラリ看護をご紹介します！！★

わたしは入社して1年になります。子供は4人います。長男は高校2年生でバスケットボール部に所属していて英語の塾に通っています。次男は中学3年生で受験生、毎日塾に通っていて高校でも続けたい柔道には毎日通っています。長女は中学一年生でソフトテニス部に所属、火曜日木曜日はソフトテニスの特別特訓を受けて、土曜日に英語、日曜日にダンスも習っています。次女は今年5歳、毎週土曜日に英語を習っています。

夫と協力して子供たちの送迎をしていて、送りは自分、迎えは夫がしています。毎日ごはんが出来上がるのが夜8～9時と忙しい状態、だから職場での業務を早く終わらせることが今の私の目標です。しかし現状として毎日定時に帰ることは難しいため、仕事が終わらないで困っていると職場のみんなが協力して手伝ってくれます。仕事でわからないところをたずねると、手を停めて親切に教えてくれます。希望の公休が多のですが、希望した日は全て休ませてもらっているため子供の行事には全部参加できています。また子どもが風邪をひいて休む時も「困ったときはお互い様だから気にすることはないよ。他の人が同じように休んだときにその分頑張ればいいのだから。」と嬉しい言葉をいただきました。その言葉を聞いた時にみんなが同じ気持ちで協力し合いながら働いているからどんなにきつくても頑張れると思いました。ほんとうに働きやすい職場だと思います。これからも頑張っていきたいです。



5月末5階南病棟に急性肺炎、アルコール依存症既往歴の中年男性が入院してきました。ガイドラインには輸液とありましたが、看護師さんに心不全があるから気をつけるようにアドバイスを受けました。その後その患者様は酸素量が低くなったため時間外に胸写撮影、胸水貯留となっていました。フォローのため毎週造影CTのオーダーを出したところ今度はその検査はしないとしないのかと指摘を受けました。血管がボロボロで患者様が針を痛がっているとのことでした。造影CTの同意書はとっていましたが、医師に言えない辛さを患者様が訴えていました。豊かな経験を積んできたプロとしてきちんと意見を述べている看護師（他職種も）は尊敬できると思います。



看護師さんとは大学病院実習で病棟に行ったとき挨拶するくらいの関わりしかもっていませんでした。ということで看護師の仕事はよくわからないまま入局しました。今は実際一緒に仕事をしていて看護師の仕事の大変さを感じています。例として採血ですが、高齢者は血管が細くて血を取るのに30分以上かかってしまいます。さらに全く取れない時もあるときは看護師に代わってもらいます。すぐにとってくれて感謝しています。（お礼）ありがとうございます。よく採血をオーダーしてすみません。

またナースステーションで看護師に患者情報を聞くと顔と名前、症状から性格まで何でも知っています。患者様にとって身近な存在ということがわかります。検査と病状にしか目がいていないため見習わないとならないと思います。またオーダーが遅くてすみません。これからもよろしくお願いします。